

2024\_0415「昼に授乳するムササビ（動画）」日々の理科 3539号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

出産から約半月がたち、ムササビの子2匹もずいぶん大きくなってきました。ムササビの母親は、子が小さいうちは、自分が食べものを探しに行く時以外は、ほとんど子と一緒に過ごします。昼は母親は寝ている時間が多いですが、寝ている間も授乳は続いています。

フクロウのように、孵化直後から肉食の動物の場合、どうしても孵化した順番や体の大きさによって、摂取できる餌の量にちがいが発生し、時間とともに生育状況に差が出てきます。しかしムササビの場合、2匹ともほぼ同時に生まれ、その後も平等に授乳されるので、2匹の生育状態にはほとんど差がないように見えます。ムササビの授乳期間は3か月～4か月と非常に長いので、しばらくの間子育ての様子を観察できそうです。

(2024年4月中旬／北軽井沢／遠隔観測)

